

開催

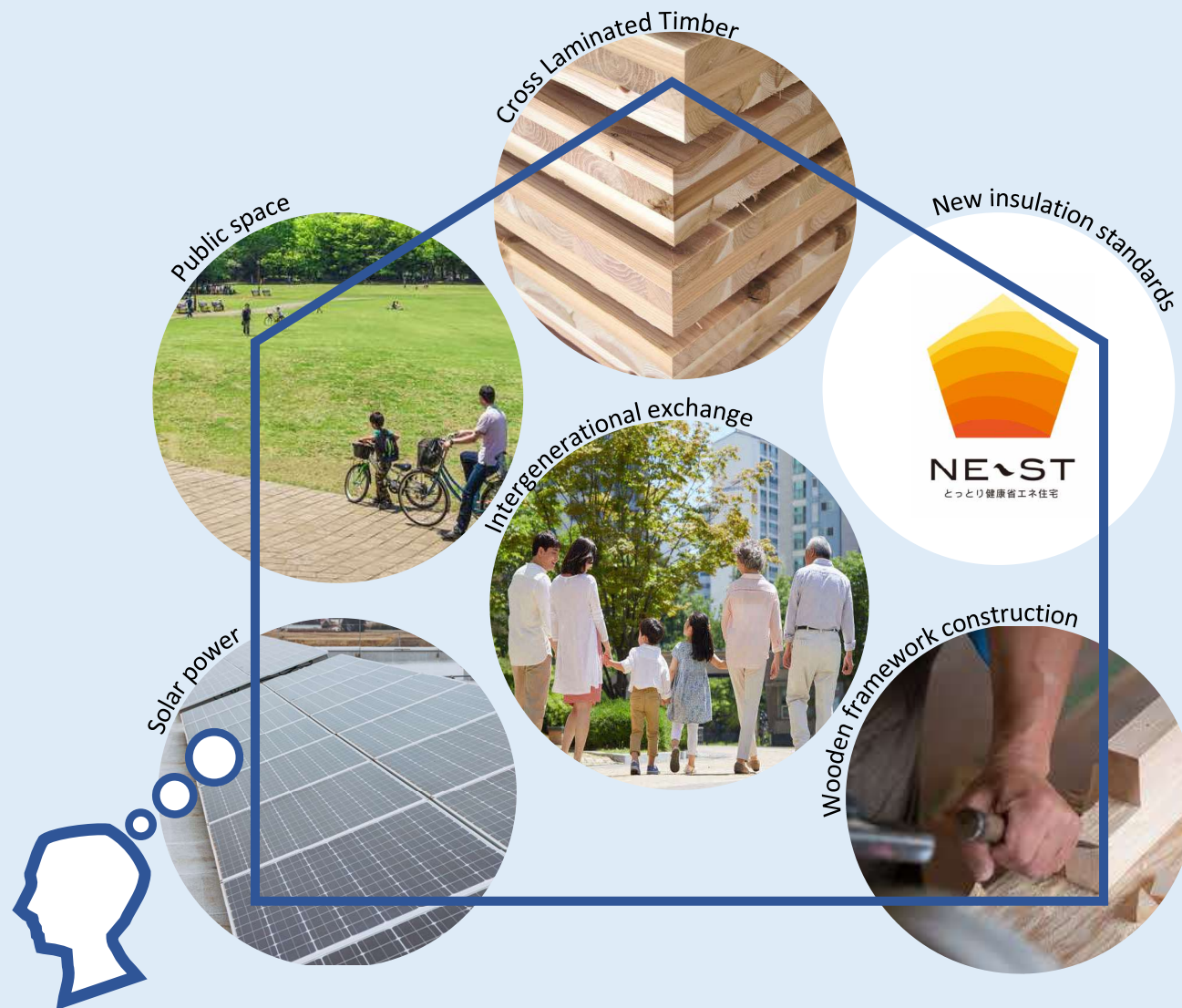
県営住宅上粟島団地建替事業PFI 公開プレゼンテーション

未来の県営住宅を考える

鳥取県では、老朽化が進む県営住宅上粟島団地と富益団地の集約建替について、民間の資金、ノウハウ等の活用により公共施設整備にかかるコストの縮減を図りながら、未来型の県営住宅を創出することを目的として、これまで、PFI（Private Finance Initiative）事業の提案を民間事業者に求めてきました。

このたび、本PFI事業に参加を希望する応募グループより事業提案がありましたので、広く県民の方に知っていただくため、公開プレゼンテーションを開催いたします。

どなたでもご覧いただけますので、是非ご参加ください。



■当日スケジュール

- 9:30～ 9:55 受付
- 10:00～10:15 事業概要説明
- 10:15～10:20 審査委員長あいさつ
- 10:30～12:40 プレゼンテーション

- | | | |
|-------|-------------------|--------|
| 審査委員長 | 東京大学生産技術研究所教授 | 腰原 幹雄 |
| 審査委員 | 米子工業高等専門学校名誉教授 | 稲田 祐二 |
| | マルコウ運輸株式会社代表取締役社長 | 椎名 恵 |
| | 鳥取大学地域学部講師 | 川口 夏希 |
| | 鳥取県生活環境部くらしの安心局長 | 荒田 すみ子 |

日時

令和7年1月9日(木)10:00～12:40

会場

国際ファミリープラザ ファミリーホール(2F)

参加申込

お申込みはこちらのページからお願いします。→
お申込みがない場合は会場には入れません。
申込締切:令和7年1月6日(月)17時15分まで
定員になり次第、受付を終了させていただきます。



定員

120名程度

参加費

無料

駐車場

会場駐車場の台数に限りがありますので、乗り合わせ又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

県営住宅上粟島団地建替事業のコンセプト

- 老朽化が進む上粟島団地と富益団地を集約し、未来型の集合住宅として建替を計画
- カーボンニュートラルの実現に向け、積極的に省・創エネ化、木造化を推進
- PFI手法(BT方式)を導入して、事業実施(令和7~11年度)

※BT方式(Build-Transfer):民間事業者が公営住宅の設計・建設を行い、竣工後に県へ所有権移転する方式

1 建替基本方針

県営住宅の配置・住戸規模の最適化

- 上粟島団地と富益団地を集約、3棟60戸を整備し、多様な世帯に対応する間取りを整備(1DK~4DK・車いす対応)

ゼロエネルギー化に向けた省エネ・創エネの推進

- 県営住宅初の「とっとり健康省エネ住宅性能基準」(NE-ST)を採用し、太陽光発電設備設置による再生可能エネルギーも活用

県産木材の積極的な活用

- Co2吸収源対策につながる木造化を推進(2棟を木造)し、木造住棟は県内初となる構造体に県産CLTを活用

富益団地の一部を上粟島団地へ集約・建替



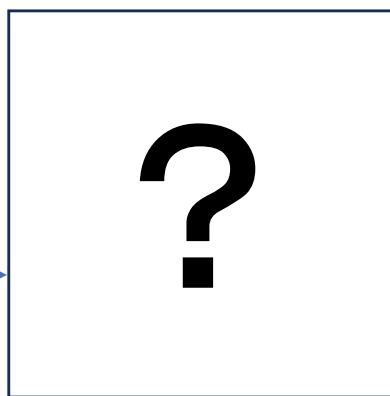
出典:国土地理院ウェブサイト

2 計画概要

- 上粟島団地の昭和40年代に建設された4棟を解体し、高層棟と低層棟(2棟)の3棟を新築
- 余剰地は売却し、民間事業者が団地や周辺住民の利便性に資する事業を提案



—現状—

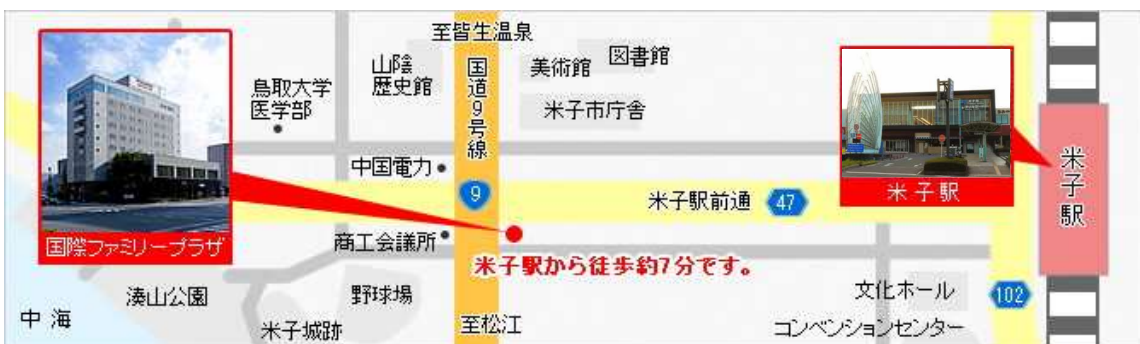


—整備後—

今回の応募グループがそれぞれの整備計画案を提案し、公開プレゼンテーションします。最も優秀な提案を決定する予定です。

国際ファミリープラザ(鳥取県米子市加茂町2丁目180番地)

会場地図



お問合せ

鳥取県生活環境部くらしの安心局 住宅政策課 計画担当
電話:0857-26-7412 E-mail:jyutaku-seisaku@pref.tottori.lg.jp